

資料3 聖歌428番「尊き泉あり」略解

2022-7-16 岡本雅幸 作成

はじめに

本資料は下記資料を基にして、聖歌 428 番「尊き泉あり」の作詞者の生涯を再構成したものです。

なお、どれも原典ではなく、食い違いが見られる資料を使っていることをご了解下さい。

・園部治夫『愛唱聖歌詞 100 選 その礎を築いた信仰詩人たち』、教会音楽研究会 1973/8/25 P068-071

・梅染信夫『讃美歌物語2「頌むべきかな」』P054-059

※聖歌 428 番「尊き泉あり」と同一メロディーを有する讃美歌 239「さまよう人々」に関する著作です。

・Web 資料

作詞者 ウィリアム・クーパー (William Cowper , 1731-1800)

1731年

1731年11月15日、英国教会の牧師である父と、良く知られた王族出身の母との間に誕生。

1737年、母と死別(6歳)

幼少期を通じて彼は虚弱体質で感受性が強く、彼の情緒不安定は、6歳の時に母を亡くした事に起因したと言われています。

1763年頃～ 相次ぐ試練

失恋や、キャリアが保証される職位を得損ねたことで、深いうつ病状態となり、幾度となく自殺を計り、33歳の時には精神病院で1年半を過ごしました。しかし、彼は暖かい友情に守られ、なかでもアンウィン牧師夫妻一家に家族の一員として迎えられたことは、規則正しく敬虔な信仰生活に入る契機となりました。

また彼は、

ローマ 3:25 神はこの方を、信仰によって受けるべき、血による宥めのささげ物として公に示されました。ご自分の義を明らかにされるためです。神は忍耐をもって、これまで犯されてきた罪を見逃してこられたのです。

この御言葉を通して、主イエスがなだめの供え物とられたこと、神は自分の全て罪を赦して下さったこと、神が自分を救って下さったこと、これらを確信した時から彼の人生は完全に変わられました。

この頃、

ゼカリヤ 13:1「その日、ダビデの家とエルサレムの住民のために泉が開かれ、罪と汚れから彼らを清める」

に基づいた詩想で、今日の聖歌 428 番「尊き泉あり」の原詞「血で満たされた泉がある」(There is a fountain filled with blood)が作詞されました。時期については 1771 年/72 年との異説もあります。

1767年頃～ ジョン・ニュートン牧師との出会い

彼はアンウィン牧師の死後、アンウィン牧師の遺族と共にオルニーへ移住しました。

「驚くばかりの(Amazing Grace)」を作詞したジョン・ニュートン牧師の招きによる移住で、この時から彼とニュートン牧師との、生涯と通じての親しい交際が始まりました。

〈参考〉

- ・ジョン・ニュートン (John Newton 、 1725 年 - 1807 年)
- ・岡本先生と共に味わう讃美の力(2)「驚くばかりの恵み(Amazing Grace)」

<https://www.jesuscgivesyourest.com/message/detail.php?id=276>

ニュートン牧師は奴隷船の船長から回心して牧師になったという数奇な経歴を有するだけに、彼に対しても娯楽を禁ずる等の厳格な態度で臨み、このことで彼はうつ病再発の危機に見舞われます。しかしニュートン牧師は彼に聖歌作詞を勧め、その後クーパーは不安と精神錯乱が襲って来るたびに、主の血潮を賛美する詩を書きました。

1771年頃～

今日の聖歌 428 番「尊き泉あり」の原詞はこの頃に書かれたする説もありますが、1772 年には、ある詩篇と讃美歌に収録されて初めて出版されました。ところが、その出版後、彼の兄弟が亡くなりました。このことでうつ病が再発し、彼は神が自分に自殺を望んでおられると思ひ込む様になり、またもや自殺を試みましたが「その度神が止めて下さった」と述懐しています。

1779 年には、ニュートン牧師と協力して出版した讃美歌集 (OLNEY HYMNS , 1779) に収録されて広く知られる様になりました。この讃美歌は、最も愛され最も物議を醸した讃美歌の一つとも言われますが、彼が残した意味深い讃美歌の多くが、うつ病から回復後に書かれていることはとても興味深いことです。

1800年 生涯を閉じる

1796 年、彼が最も親しみを感じていた友アンウィン夫人が亡くなったことで彼は絶望状態に陥り、最終的に 1800 年 4 月 25 日に亡くなりました。しかし伝えられるところによれば、彼は死の床において顔を晴々とさせ「結局、私は、天国から締め出されはしない」と信仰を語ったそうです。

彼には肉体的、情緒的虚弱性があったため、「生涯うつ病に悩んだ薄幸な詩人だった」と評せられる事もあります。しかし誰がなんと言おうとも、彼は神から類い稀な賜物を与えられ、インマヌエル(神に共にいます)な「さいわいな人」ではなかったでしょうか。

神は W.クーパーを立て彼の作品を用い、十字架上で御子イエスにおいて成し遂げられた贖いの御業を鮮烈に指し示し、今もなお私たちキリスト者を慰め励まし続けておられます。

以上